



8/20 トマトいっぱい食べます

JA阿蘇南部トマト部会がトマト贈呈

JA阿蘇南部トマト部会（部会長 渡邊和徳さん 長野）が、村内5つの保育所にトマトを贈呈しました。

贈呈されたのは肉質がしっかりとした「りんか」。長陽保育所では、一箱24個入りのトマト3箱が贈られました。

箱にぎっしり入った大きなトマトを目にした園児たちは、「トマト大好き」と言って喜んでいました。

贈呈されたトマトは、この日の給食で出されました。



(左) トマト部会の方からトマトを受け取る園児（白水保育所）
(右) トマトを手にする園児たち（長陽保育所）

8/19 立野ダムを通じて交流を

立野ダム上下流をつなぐ夏の学校

立野ダムを境に上下流の小学生が交流し、川遊びや水生生物調査などを行い、自然学習を行うことを目的に、「立野ダム上下流つなぐ夏の学校」が開催されました。上流の南阿蘇西小と下流の大津東小学校の生徒27人とその保護者7人が参加。

2班に分かれた生徒たちは、熊本大学の田中先生から立野ダムの概要説明などを受けたあと、カヌー体験や川調べ体験を交互に行い、初めての体験で、はしゃぐ様子が見られました。

その後、碧流キャンプ場でバーベキューを楽しみ、大津町の「岩戸の里」で一日のまとめや学習の成果を発表しました。



カヌー体験に行ってきます！

8/26 100歳おめでとうございます

中村生さん(新所区)

新所区の中村生さんが100歳の誕生日を迎えられ、そのお祝いがデイサービスを利用されている特別養護老人ホーム「陽の丘荘」で行われ、長野敏也村長から記念品が贈られました。中村さんは、大正3年8月26日生まれ。農業をされていたことから体が丈夫で、夏は裸で歩き回っていたと。ぼた餅と饅頭が好物で、今でも食事はしっかりと取っていると、ご家族の尊徳さん。

終わりに生さんが「今日を迎えられたのは皆さんのおかげです。これからもよろしく願います」と、あいさつされました。



100歳を迎えられた中村生さん(中央)とご家族の尊徳さん(左)と長野村長

8/23~24 雨にも負けず開催

鎮火祭(吉田一区)

西安寺境内に火伏地藏尊を建立し、毎年8月23日、火伏地藏を祀る「鎮火祭」が吉田一区鎮火祭実行委員会事務局主催で、開催されました。

24日は、白水庁舎駐車場で本祭が行われ、直前まで降っていた雨も上がり、予定どおり開催。ステージイベントでは、地元新町青年による「にわか」や、人吉市在住で芸名「赤蛭 sekiei」さんによる「ファイヤーショー」などが披露。祭りの終盤には豪華賞品が当たる「大抽選会」も行われ、多くの来場者もあり、大盛況を見せていました。



会場の笑いを誘った新町青年による「青年仁〇加」

8/27 バイオマスエネルギーの活用を目指して 南阿蘇バイオマスエネルギー協議会

バイオマスエネルギーの活用を目指して、NPO法人九州バイオマスフォーラム(大津愛梨副理事長)が平成24年度から取り組んでいる「南阿蘇バイオマスエネルギー協議会」の今年度1回目の協議会が久木野庁舎で行われました。

この取り組みは、同フォーラムが環境省の委託(3年間)を受けて呼びかけたもので、民間主導により再生可能エネルギーの導入を進めようと、農業者、福祉関係者、行政関係者などで構成。

最終年度となる今年度は、バイオマス発電の事業化に向け、事業の組織形態や事業スキーム、資金計画など、より具体的な検討を進めていくことや、新潟県村上市の先進事例を紹介した講演会がありました。



先進事例の話聞く協議会の皆さん

8/26 富士山登頂を目指して 藤崎未夏さん(久木野中)

8月30日から9月1日にかけて富士山登頂を目指す久木野中学校3年の藤崎未夏さんが、あいさつのため久木野庁舎を訪れました。

藤崎さんは、生まれつき左足が不自由で、義足をつけての生活。5年前に障がいがある人と、ない人との心のふれあい体験を綴った「心の輪を広げる体験作文」で、内閣総理大臣賞を受賞したことがきっかけとなり、民放テレビ局の番組の中で挑戦することになりました。

藤崎さんは今回の挑戦に「この登山を通してもう一回り成長したい」と、意気込みを話されました。



藤崎未夏さん(中央)、母親の京子さん(左)と激励する長野村長

8/30・31 初出場優勝 南阿蘇村サッカークラブ

福岡県桂川町において、「第18回筑紫野バディージュニアサッカーCUP」が開催されました。大会には九州各県から強豪32チームが参加。本村からも南阿蘇村サッカークラブの小学3年生チームが初出場し、予選リーグを無敗で突破しました。

31日の決勝トーナメントでは1回戦を4対0、準決勝を4対1、決勝では福岡県の「BUDDY FC」を2対1で破り、見事優勝を果たしました。

南阿蘇村サッカークラブは保育園児から2年生までのクラブ員を募集しています。ご興味のある方はクラブ南阿蘇事務局までお問い合わせください。



優勝を果たした南阿蘇村サッカークラブ小学3年生チーム

8/30 全九州小学生バドミントン大会出場 米村亮真君(第四駐在)、田所秀翔君(第二駐在)

全九州小学生バドミントン選手権大会県予選会が八代市総合体育館で行われ、熊日学童で3位に入賞した久木野小学校の米村亮真君(6年生)と田所秀翔君(5年生)が6年男子複の部で出場しました。決勝戦で敗れはしたものの、見事2位に入賞し、10月18日~19日に北九州市で開催される全九州小学生バドミントン県代表として出場することになりました。



県大会出場を手に入れた田所秀翔君(左)米村亮真君(右)



9/4 南阿蘇に図書館を！

1,519名分の署名を村に提出

南阿蘇に図書館を願う会（事務局代表 藤安代さん）ら役員の3人が、久木野庁舎を訪れ、「図書館設立要望の署名」を提出しました。

同会は、昨年秋に発足以降、図書館の視察や意見交換会を重ね、行政への意思表示の手段として署名活動を始められました。

本格的に活動開始した5月以降8月までに、1,519人の署名が集まり、引き続き「図書館を考える会」として、視察や、意見交換を定期的に重ねていく予定。藤さんは、「図書館がないことをマイナスとは考えず、ゼロの状態から、南阿蘇らしい、どこにもない、素敵な夢の図書館を南阿蘇村に創りたい。そのためには、住民側としても図書館についてしっかりとした考えを持つよう活動していきたい」と話されました。



市原副村長（右）に署名を手渡す「村に図書館を願う会」の皆さん

9/2 ミニトマト大好き

JA 阿蘇白水ミニトマト部会がミニトマト贈呈

JA 阿蘇白水ミニトマト部会（部会長 藤野正二さん 両併二）の役員3人が白水保育所を訪れ、ミニトマトを贈呈しました。

贈られたのは、「キャロルクイーン」、「サンチェリーピュア」という品種の、3キロ入りのミニトマト3箱。

贈呈式で、同部会の方から「みんなにいっぱい食べてもらいたいので、たくさんミニトマトを作ります。いっぱい食べてください」とあいさつされると、園児たちは、「ありがとうございます」と元気に返事をしました。

贈呈の後は、みんなで協力して給食室へ運んでいました。



JA 阿蘇白水ミニトマト部会の皆さんからミニトマトを受け取る園児たち

9/7 中秋の名月を堪能

観月会

南阿蘇観音桜公園展望所で「女子会 さくら」（第八駐在）が主催する恒例の観月会が開催されました。

前日の雨により、7日に延期された観月会は、開会直後から雲が覆った天気でしたが、月が雲の合間から姿を表した瞬間、来場者から拍手と歓声が上がりました。

ステージでは、宇都宮幸子さん（第八駐在）によるオカリナ、今村昭人さん（第八駐在）の尺八、肥後銀行音楽部（藤田美帆さん 喜多）のバンド演奏など数々のBGMで来場者を魅了しました。

会場は手作りの行灯もともされ、幻想的な演出もありました。



「ケナ・クンパ」のケーナ演奏と中秋の名月



月見酒の振る舞い



観客を魅了した満月

9/9 先進事例から学ぶ 農泊・民泊講演会

村が取り組んでいる修学旅行生などを受け入れる農家民泊を充実させることで、さらに地域を活性化させようと南阿蘇村農泊・民泊活性化協議会（長野良市代表）が、村の頑張る地域支援補助金を活用して、先進事例講演会を開催しました。

講演では、鹿児島県で10年間にわたり活動を行っているNPO 法人代表理事の下津さんが、現在2万人近くの修学旅行生の受入体制が整うまでの経緯などを話されました。

参加者からは、「今までの取り組みで苦労した点」などについて質問が投げかけられました。

最後に代表の長野さんは「この活動を通して村独自の取り組みができれば」とあいさつ。今後は、受入れた農家の話を踏まえながら2回の講演を開催予定。



講演する下津さん(中央)と参加者の皆さん

9/9 敬老おめでとうございます 久木野小学校放課後子ども教室

9月に各地区で開催される「敬老会」の会場に花を添えようと、5年前から久木野小学校（東光洋校長）の放課後子ども教室に参加する1年生から3年生の児童46人が手作りメッセージのポスターを作成し、村老人会会長の桐原唯典さん（第二駐在）と、第八駐在区老人会会長の今村健男さんに久木野地区の全駐在区分9枚を贈呈しました。

メッセージを受け取った桐原さんは、「みんなで力を合わせて立派に出来上がりました。全部の駐在区に配りますが、おじいちゃん、おばあちゃんは喜んで読まれると思います。ありがとうございます」と感謝を述べられました。



子どもたちからメッセージを受け取る桐原さん(右奥)と今村さん(右手前)

9/13 力を合わせて優勝を目指そう 村内4小学校運動会

村内4小学校（両併・白水・中松・南阿蘇西）の運動会が開催されました。

中松小学校（合志正輝校長）では、少し肌寒い天候になりましたが、多くの来賓・保護者が見守る中、短い練習期間で頑張った子どもたちは元気にダンスや、技巧走などを披露しました。

5・6年生の技巧走では、子どもと保護者で思い思いの衣装に仮装し、二人三脚や玉ころがしに挑戦。親子で協力してゴールを目指す様子が見られました。

昼休みには、毎年恒例の変装した保護者のダンスも披露され、会場は大賑わいとなりました。

その他全員リレーも行われ、全学年がバトンをつなぎ、ゴールの瞬間、大きな拍手が送られました。



ハンターに扮した教職員から逃げる子どもたち(3・4年生技巧走)



仮装して二人三脚でスタートする子どもと保護者



紅白対抗「くまモン」VS「かなばあちゃん」落とさないように運ぶぞ！